

Yoshika Masuda
増田 喜嘉
チェロ



神戸市生まれ。5歳よりチェロを始める。12歳で渡豪以来、欧米を中心に活躍している国際派チェリスト。現在ロサンゼルスを拠点に演奏者・指導者として活躍し、近年は日本での演奏活動も広がっている。

オールドバラ音楽祭(英国)、オタワ室内楽祭(カナダ)、イエロー・バーン音楽祭(米国)、ランデブー・デ・ラ・ミュージック音楽祭(韓国)などの音楽祭にて定期的に演奏し、室内楽奏者として世界的に信頼を置かれている。C・ガッド、B・ジュランナ、P・フランク、R・タッピン、A・マルグリス、N・マン、G・ケリッシュ、P・ロチェック、D・ワイラー・シュタインなどの著名奏者らと共演。ロサンゼルスでは室内楽グループSalastina LA、5台のチェロアンサンブルSAKURA、日本ではパトス四重奏団、神戸ピアノ三重奏団のチェリスト。2020~21年にはローストン四重奏団のチェリストとしてヨーロッパとカナダツアーを行った。また現代音楽の世界初演も積極的に行っており、イェルグ・ヴィットマンや細川俊夫らの作品などをはじめ、数々のアメリカ初演を手掛けた。

これまで第11回ピバホールチェロコンクール第1位・夢但馬賞受賞、アメリカ全国ヤング・アーティストコンクール弦楽部門第1位、オーストラリア音楽協奏曲コンクール第1位、ヤマハ・ヨーロッパ音楽財団弦楽コンクール第1位等で優勝。フアレス響(メキシコ)、マンチェスター・ベートーヴェン管、シェフィールド室内管、ミルトン市管(英国)、北クィーンズランド響(豪州)、ウェストレイク・ヴィレッジ響、YMFデビュー・オーケストラ(米国)等と共演し、好評を博す。シドニー音楽院附属中学・高校を経て、英国王立検定国際奨学生として英国王立ノーザン音楽院を首席卒業、同時に学長賞、レナード・ローズ・チェロ賞を受賞。米国・南カリフォルニア大学にて博士号を取得。これまでチェロを林良一、G・ベダソン、H・ロバーツ、R・キルシュバウムに、室内楽をA・テイト、P・フィッシャー、P・カッツ各氏に師事。またD・ゲリンガス、T・デメンガの指導を受けた。指導者として次世代の育成にも情熱を持ち、教え子にはジュリアード音楽院、ニューイングランド音楽院などの主要音楽学校へ入学している。これまでに日本、台湾、メキシコ、米国各地でマスタークラスを務め、米国ではモンテシート音楽祭、ハートランド室内楽祭にて毎夏指導を行う。現在チャップマン大学・ホルムスコ音楽院・弦楽科長、助教授。

Official HP www.yoshicello.com

京都公演

2023年6月15日(木) 20:00開演

【会場】カフェ・モンタージュ

- ◆詳細・チケット予約 www.cafe-montage.com
- ◆アクセス 京都市地下鉄「丸太町」駅夷川東⑦出口より徒歩5分

Ryutaro Suzuki
鈴木 隆太郎
ピアノ



鎌倉生まれ。日比谷友妃子、横山幸雄等に師事。9歳の時に神奈川フィルハーモニー管弦楽団とハイドンの協奏曲二長調を共演。2000年全日本学生音楽コンクール小学生の部第1位。2008年に栄光学園高等学校を卒業後、渡仏。同年、パリ国立高等音楽院に首席で入学し、サンソン・フランソワ唯一の弟子として知られるブルーノ・リグットと、オルタンス・カルティエ＝ブレッソンに師事。修士課程ではリストのオペラ編曲作品に見るドラマ性の変容に関する論文を書き、演奏と共に首席で卒業。2013年からの第3高等課程ではミシェル・ダルベルトとミシェル・ペロフにも師事し、在学中に学内奨学金を2度授与された他、パリ音楽院管弦楽団とも共演した。その後、ジョージアの名ピアニスト、エリソ・ヴィルサラゼのもと研鑽を積んだ。その他世界的ピアニスト、マレイ・ペライアやステューブン・コバセビッチ等からも薫陶を受け、その演奏を高く評価されている。

これまでに、イル・ド・フランス国際ピアノ・コンクール第1位、エミール・ギレリス国際ピアノ・コンクール第2位、ホセ・イトゥルビ国際ピアノ・コンクールで第3位等々、多数の国際コンクールで優秀な成績を収めている。

2015年よりパリを拠点に演奏活動を行っている。スイスの音楽祭「Sommets-Musicaux de Gstaad」をはじめとした多くの音楽祭に招待されているほか、フランス国営ラジオの若手を紹介する番組「Génération Jeunes Interprètes」や、NHK-FM「リサイタル・パッショ」等に出演し公開録音コンサートでも好評を得た。また、大友直人指揮東京フィルハーモニー交響楽団のほか、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、コロンビア国立交響楽団、マラガフィルハーモニー管弦楽団、バレンシア管弦楽団、ルイジアナ・フィルハーモニー管弦楽団、ウクライナ国立オデッサ管弦楽団等のオーケストラと共演している。

この他、日本人作曲家の作品や日本の音楽文化を紹介する活動にも力を入れている。例えばバリの日本文化会館では邦人作品をフランス人演奏者と共に紹介する取り組みを複数回催し、2018年には南米コロンビアで日本センター開所式の記念演奏会を開催。2023年には中央アジア3か国にて邦人作品や日本にインスピレーションを得た作品を披露する演奏ツアーや、日本国内の有名寺院等にフランス人ピアニストを招いて共演する演奏会シリーズも予定されている。室内楽でも積極的に活動し、フルートの上野星矢、クラリネットの吉田誠、ピアニストの岡田奏やマシューロー、ヴァイオリニストの鈴木舞、チェリストの増田喜嘉らと国内外で共演。2020年にはヴァイオリニスト五嶋龍のデビュー20周年記念ツアーでサントリーホールをはじめ全国13か所のツアーにピアニストとして帯同した。

2017年秋には、スイスの「Claves」レーベルより得意とするラヴェルやリストなどの作品を取り入れたデビューアルバムをリリースしたほか、2020年にはフランスの「Hortus」レーベルより日本とフランスの作曲家に焦点を当てたセカンドアルバムをリリースし、現地音楽誌において高く評価された。2023年にはスペイン・KNSレーベルよりデジタル・ソロアルバム「Concert in Italy」がリリースされたばかり。今後更なる活躍が期待される。

増田喜嘉 & 鈴木隆太郎

デュオリサイタル

チェロとピアノで創り出すシンフォニックな響き

2023 6/16 金 19:00開演
18:30開場

ベヒシュタイン・セントラム東京ザール

C. BECHSTEIN